

# 青少年相談員だより



下校パトロールの様子

## 挨拶（あいさつ）の言葉

那珂市青少年相談員連絡協議会  
会長 小貫 秀夫

私たち青少年相談員は「あいさつ運動」を実施しております。

おはようございます こんにちは こんにちは  
おやすみなさい いただきます ありがとうございます  
ます さようなら

いろんな場面でのあいさつの言葉がありますが、  
西洋では握手をしてあいさつをします。

これは「私は武器を持っていません」ということを  
示しています。

仏教では相手が敵か味方かを確認するために言葉  
が始まった、とされています。

挨拶の「挨」は「心を開く」、「拶」は「相手に近づく」という意味をもち、互いに心を開いて近づくこと、つまり「私は敵ではなく味方です」という友好的な意思表示なのです。

（公社）茨城県青少年育成協会の資料から抜粋  
子どもたちに会ったらあいさつしましょう。

はじめのうちは返ってこないかもしれないけれど、  
いつかきつと素敵な笑顔とともに素敵なあいさつ  
が返ってくるでしょう。

地域の親として子どもたちの成長を温かく見守り  
ましょう。

## 青少年相談員研修会

白鳥学園 瓜連中学校区 青少年相談員

6月25日、ふれあいセンターすがやにおいて、研修会が開催されました。

本年は「青少年相談員の役割と方向性」というテーマで、茨城県福祉部子ども政策局青少年家庭課 青少年指導員の皆川澄雄先生より講話を頂きました。

・青少年相談員としての心構え  
地域の子もたちの健全育成と非行防止の推進にあたる。青少年相談員としての自覚をもち、子どもたちの規範となるような行動を心掛ける。

・青少年相談員の役割・活動  
街頭における巡回パトロールや声かけは最重要活動の一つである。子どもたちを犯罪から守る取り組みとして、車等による定期巡回が効果的である。街中での声かけでは、明るい態度で接すると共によい聞き手となるよう心掛ける。また、最近懸念される事象の一つとしてオーバードーズという薬の過剰摂取問題も取り沙汰されている。薬物使用等も念頭におき接するようになりたい。

・まとめ  
地域・家庭・学校・警察・専門機関が連携し子どもたちの健全な発達をサポートしていく体制づくりが大切である。それが子どもたちの幸せな未来につながる。  
改めて子どもたちや地域に信頼される青少年相談員となり、活動していきたいと感じました。

## 協力店舗へのあいさつ回り

わかすぎ学園 第四中学校区 青少年相談員

青少年の健全な成長のための環境づくりを進めるためには、関係事業者、青少年育成関係団体および行政の協力体制が不可欠です。青少年の健全育成に向けた取り組みにご協力いただける店舗を「青少年の健全育成に協力する店」と位置づけ、その登録を推進しています。

現在、市内では約200店舗が登録されており、ステッカーを標示していただいております。登録店舗には、次のような事項を遵守してもらっています。

(例) コンビニエンスストア

・成人雑誌などの条例による指定図書を一般の図書と区別して陳列し、青少年に対して販売したり、閲覧させたりしないようにする。

・深夜、店舗内や敷地内にいる青少年に対し、帰宅を促すように努めるとともに、たまり場にならないよう監視に努める。

当地区では、7月18日に地域の登録店舗(52店)を3班に割り振りして訪問しました。

各店舗の方々が、青少年の育成と見守り活動へのご理解とご協力をいただいていることに触れて、あらためて感謝しております。

～みんなの力でよい社会環境を～  
**青少年の健全育成に  
協力する店**

茨城県  
（公）茨城県青少年育成協会  
いはらき子ども見守りネットワーク  
（茨城県青少年相談員連絡協議会）

## 青少年健全育成のための懇談会

ばら野学園 第一中学校区 青少年相談員

8月7日、那珂市中央公民館において青少年健全育成のための懇談会が開催されました。

第1部の「青少年の実態と関わり方」では、那珂警察署生活安全課長 五味淵靖弘様から、防犯アプリ「いばらきポリス」の活用についての講話がありました。

特に印象に残ったのは、不審者情報の場合、子どもの話が必ずしも正確とは限らないという点でした。あくまでも子どもの視点からの情報であることに留意が必要とのことでした。

続いて、関係団体（那珂市連合民生委員児童委員協議会・那珂市商工会）の代表の方、小・中学校及び高校の先生方から、それぞれの立場から見た児童・生徒の実態の発表がありました。

第2部の分散会では、5つのグループに分かれて話し合いを行い、次のようなことが話題となりました。

- ・ 休日に子どもの姿が見られない。公園にいるのは高齢者ばかり。
- ・ 交通指導をしても雨の日の朝はほとんど子どもの姿を見かけない。
- ・ スクールタクシーが導入され、子どもの姿を見かけなくなった。
- ・ 通学路に庭木がはみ出している。地域との調整が必要では。
- ・ 卒業後何年も過ぎていて持ち主が分からない放置自転車がある。
- ・ あいさつ声かけ運動では、なかなか声を出さない子もいる。
- ・ インターネットの使い方について注意する必要がある。
- ・ SNSで犯罪に巻き込まれた場合は警察へ相談を。

## 移動研修会に参加して

青遙学園 第二中学校区 青少年相談員

9月16日に行われた移動研修会で、牛久市にある茨城農芸学院を訪問する機会を得ました。

この施設は、おおむね12歳から23歳までの男子を対象とした少年院で、現在120名ほどの院生が生活している。ここで数か月から2年の間、学習や就労の支援、生活指導や矯正教育などを受け、円滑な社会復帰を目指すという。



施設内見学では、院生が元気にあいさつを交わしたり、運動会の練習に汗を流したりする姿に接することができた。普通の青少年と変わらぬ表情に好感が持てたが、その実、大人や一般社会への不信任は根深いという。

院長さんが最後に語った「この子どもたちには、家庭や学校、地域、友達集団の中に安心できる居場所と活躍の場が必要なのです。」という言葉が心を打ちました。



緑桜学園小中一貫教育の日

緑桜学園 第三中学校区 青少年相談員

11月8日、「緑桜学園小中一貫教育の日」に、青少年相談員として芳野小学校と第三中学校の行事に参加しました。

行事のねらいは次の2点です。

- ・児童生徒間の交流活動や地域・保護者との連携を深め、豊かな人間性や社会性を育成する。
- ・保護者や地域の方とともに活動することで、地域に住む知人や友人を増やし、地域づくりに不可欠である人のつながりをつくる。

芳野小学校では芳野小1～4年、先生、地域の方、保護者が参加し、第三中学校では芳野小5・6年、第三中7～9年、先生、地域の方(学校評議員)が参加しました。

内容は、「地域によさ・魅力に出会う(1～4年生)」と「地域の現在(いま)を知る(5～7年生)」を屋内で行いました。

工房中本木工研究所木工・漆職人 中本晋さんは、木工のほど組のお話をされ、「地獄ほど」は建築の組手のひとつで、一度組むと二度と外せない(木を割るか切断しないと外れない)加工のことである、というお話が印象的でした。

8・9年生は第三中学校の校内及び学校周辺の落ち葉掃きを行い、学校周辺の美化活動に寄与しました。これには青少年相談員も参加しました。

令和7年度 事業報告

通年	担当地区パトロール・児童生徒へのあいさつ声かけ 青少年育成那珂市民会議の事業への協力	
4月11日	那珂市青少年相談員連絡協議会総会	総合センターらぼーる
5月16日	第1回幹事会	瓜連支所分庁舎
5月30日	茨城県青少年相談員連絡協議会総会	茨城県市町村会館
6月25日	第2回幹事会・第1回研修会	ふれあいセンターすがや
7月中	「青少年の健全育成に協力する店」登録推進活動 各地区	
7月14日	社会を明るくする運動	イオン那珂町店・カスミ瓜連店
8月7日	青少年健全育成のための懇談会	中央公民館
9月10日	第1回広報部会	瓜連支所
9月16日	移動研修会	茨城農芸学院・牛久シャトー
10月17日	第3回幹事会	瓜連支所分庁舎
10月29日	第55回茨城県青少年相談員研修大会及び記念大会	茨城県庁
12月19日	第4回幹事会	総合センターらぼーる
2月5日	第2回広報部会	瓜連支所
2月13日	第3回広報部会	瓜連支所
2月21日	茨城県青少年相談員連絡協議会第3ブロック研修会	大洗町中央公民館
3月	第5回幹事会	

【発行人】那珂市青少年相談員連絡協議会

会長 小貫 秀夫